

革新懇の三つの共同目標

- ①経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
- ②憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。
- ③日米安保条約をなくし、非同盟・中立の平和な日本をめざします。

鳥取県革新懇ニュース

No. **74**
2022年
5月10日

〒680-0833 鳥取市末広温泉町211誠ビル3階(鳥取県労連気付)
TEL0857-21-3171 FAX0857-21-3172

被曝二世として父の意志を引き継ぐために、何ができるのか

有限会社伊谷商店 取締役
柴田杉子(しばたすぎこ)さん



1963年鳥取市西町で伊谷周一の長女として生まれ、大学卒業後、鳥取で日本海テレビの臨時職員などを経て25歳で上京し、ブライダル雑誌の編集、大型展開映像の制作会社、タレント大葉久美子さんのマネージャー、フリーのライターなどを経て、実家の火事をきっかけに有限会社伊谷商店へ入社、両親亡き後、現在有限会社伊谷商店の取締役として、砂丘の家レイガーデン、ブライダル伊谷を運営。

◆緊張感のある子供時代◆

どちらかというと、私はフアザゴンでした。父が語る平和や、男女平等の話は、魅力的で、小さい頃から、父の話を聞くのは、私の係(役割)という感じでした。父の語る女性の未来は希望に溢れていて、「女子というものはこうでなければならぬ」という母の示す女性像と比べて、随分と魅力的に感じたものです。共産党員である父を持つというのは、鳥取では当時、かなり緊張感がありました。私が高校生の時、「青空にホームランを、国会へ伊谷を」というキャッチフレーズで、衆議院選挙に父が立候補した時、オールバックに整えた父の顔写真と共に、日本共産党の文字が町中に張り巡らされ、父

が街角で演説をしている側を、自転車で通り過ぎようものなら、スピーカーで呼びかけられ、逃げも隠れもできず、共産党の娘としては、それなりの覚悟が必要でした。

大音響で軍歌を流す、日の丸はためく大きな紺色の車が「伊谷周一！」と、父の名を大声で呼び捨てて家の前を通ったりするので、私の部屋の窓ガラスに、小さな穴があいて割れていた時には、父が、弾丸が打ち込まれたのではと、辺りを探していたのを記憶しています。

◆原水爆禁止のための平和活動一筋の父◆

子供の頃、夏は毎年、いろんな国から、平和活動家の方々が来られ、朝食や夕食を共に

し、拙い英語で会話したのは、とても楽しい思い出でした。年齢もさまざま、どの方もとても魅力的でした。また、父といえば、「演説とカンパに立つ人」。「6、9行動」と言って、毎月6日と9日は、広島の日、長崎の日ということとで、昔「トリセンの角」と呼んでいた、若桜街道と末広通りの交差点の辺りで、マイクで街ゆく人に語りかけ、演説している姿をよく見かけました。元旦には、長田神社の参道で、核兵器廃絶の演説とカンパを集めに、大きな段ボール箱を持って出かけ、一緒に歩いていったのも覚えています。その後は、参加した方々が、伊谷家に来られ、一杯飲んだり、食べたり、最後には、Uさんと何時間も碁を打つのを毎年楽しみにしていました。父の姿といえば、私が小さい頃は商売一筋なイメージでしたが、いつの頃からか、記憶に残る父の姿は、会社の経営者というよりは、兎に角、核兵器廃絶に対する情熱と平和運動一筋の人でした。

◆火事で店舗と実家が全焼◆

しかし、2000年に火災でお店と家が全焼してから、少し状況が一変。当時、東京に住んでいた私は、保育園の待機児童400人の状況下で、子育てしながら好きな仕事をすることは出来ないかと、祖母の婚礼衣装に魅了されたのを契機に、アンティーク着物を扱う事業を決意。母の協力を

の元、事業の許可申請のため、300万円分くらいの着物と共に帰省中、火事に遭遇、着物は全焼、犬も一匹死にました。まさかのきっかけで実家を手伝うことになった私は、父と経営の方針を巡って時々意見が対立。何より、出張という名のもとに、広島や長崎に出かけ、平和活動する父に対して、事業をサボっているように感じていた私は、こんな大変な時くらい、その個人的な活動を中断してはどうかとさえ思っていました。

しかし、その頃、戦後60年経って、原爆にあった旅館で、同宿のひと夜の友人を助けることができなかつた、父の心のケロイドを少しでも癒すべく、亡くなったその友人K君の遺族への謝罪の旅に出た毎日の新聞の記者のHさんが鳥取支社に戻り、挨拶に来られた折に初めて知りました。火事で、平和活動の集積が全て焼失し、これ以上、謝罪の旅を先に伸ばせなかつたのはと、父のことを何も知らなかつたことを深く後悔しました。

弊社の企業理念の一番目は、「ノーモアヒロシマこそ中小企業発展の基礎」。平和でなければ中小企業の発展はない、簡単にいえば「みんな仲良く」ということだかなあ」と父が言っていました。被曝二世として、これから何をすべきか、父の意志を引き継ぐために、できることから始めたいと思っています。

みんなで変える未来

第93回メーデー鳥取県集会



スタンディングアピールする参加者
鳥取駅北口ロータリー（上）、道路の向側でも（下）=1日、鳥取市

第93回メーデー鳥取県集会実行委員会は5月1日、鳥取駅北口でスタンディングアピールと憲法署名などに取り組みました。

取り組みに先立ち、実行委員会を代表して鳥取県労働の田中議長が、ロシアのウクライナへの軍事侵略に抗議し、即時撤退を訴えるとともに、「ウクライナ問題」に便乗した一部勢力の敵基地攻撃能力の強化や、「核共有」「防衛費のGDP2%論」などを批判。さらに、2年余のコロナ禍で深刻になっている労働者・国民の生活改善をめざし、各分野で取り組みを進めていくことを呼びかけました。

続いて、県社会保障推進協議会の藤田安一会長、日

本共産党の参議院鳥取・鳥根選挙区予定候補者の福住英行氏より連帯の挨拶をいただき、国家公務員労働組合鳥取県共闘会議、鳥取県民主医療機関連合会、新日本婦人の会鳥取県本部、鳥取県民主商工会連合会の代表が、それぞれの分野での課題や取り組みを紹介しつつ、政府に対する要望などを訴えました。

参加者は80名。平井知事、新社会党鳥取県本部山脇敏正委員長、日本共産党仁比聡平参議院比例候補者、大平喜信元衆議院議員よりメッセージをいただきました。

憲法署名は12筆、ウクライナへの支援募金4303円が寄せられました。

憲法記念日、各地で多彩なイベント

《米子市で》

鳥取県憲法会議、鳥取県九条の会など呼びかけ22団体は、日本国憲法施行75年目となる5月3日、米子市内で50人が参加して、講師と会場をオンラインで結んだ憲法学習講演会（第13弾）を開催しました。

会は、Iさんのギター演奏に、女性2名が加わり「あの日の授業くあたらしい憲法のはなし」の歌唱で始まりまし

講演は、丹羽 徹氏（龍谷大学教授・大阪憲法会議幹事長）が「いまこそ生かそう平和憲法―日本国憲法75年の原点と現点」と題して行いました。

講師は、憲法施行後の改憲勢力の動きの中で特に顕著となった、安倍・菅政権の憲法破壊（壊憲）、民主主義破壊の動きとして、集团的自衛権行使容認の解釈変更。安保法制・共謀罪法・重要土地規制法の制定。敵基地攻撃能力保有、防衛費GDP1%枠の撤廃への議論加速。自衛隊日報問題などの文書改ざん。日本学術会議問題などの説明責任逃れ。などの悪政の動きを説明。次に、改憲勢力の目論む憲法改悪への方向付けとされる、自民党改憲4項目（①自衛隊の明記②緊急事態条項の

創設③教育の充実④国会解消

創設③教育の充実④国会解消

創設③教育の充実④国会解消

創設③教育の充実④国会解消

創設③教育の充実④国会解消

創設③教育の充実④国会解消

《鳥取市で》

5月3日憲法記念日に、はと風船を飛ばすイベント「平和の鳥フェスティバル2022」と、憲法を考える「平和と民主主義を考える連続市民講座2022春」が鳥取医療生協レインボーセンターにて開催されました。

平和の鳥フェスティバルは、いまだ収束しない新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、大きな集会は困難と判断し、3年連続して少人数による集

会となりましたが、今年も平和の象徴である「はと風船」を青空に向けて放つことが出来ました。今年、はと風船の翔に先立ち、憲法生協センターの憲法連続学習シリーズを視聴する学習企画を行いました。

渡辺修先生の「憲法とは何か？憲法の力とは？」では憲法の基本原則、憲法が私たちの生活の中でどう生きているのか？自民党による改憲の動き等学びました。一時間程度、動画視聴、意見交換を行い、正午を合図に、はと風船を雲一つない青空に向けて飛ばしました。平和への思いを引き継ぐイベントを今年も形にすることが出来ました。



青空に放たれた「はと風船」
=3日、鳥取市

午後からは、同じ会場で、鳥取市9条の会が主催する「平和と民主主義を考える連続市民講座」が開催されました。藤田安一先生による「奇跡の憲法―日本とドイツを比較して」講演が行われました。第二次大戦の敗戦国である日本とドイツの戦後に作られた憲法を比較することで、改めて日本国憲法の重要性、奇跡の憲法と言われる所以、そして私たちが進むべき世界平和の実現に貢献する道を確認する機会となりました。ウクライナ情勢を追い風にして「戦争に勝つ国」づくりを目指して、軍事力強化、核共有、憲法改正に突き進む政府の姿勢を許さず、9条を柱に平和を守るという憲法の理想が生きてる社会を作るといった思いを新たにしました。

憲法9条の元、私たちは戦後77年もの間、戦争に巻き込まれることもなく暮らすことが出来ています。憲法記念日に、改めて9条を守る思いを強くした2つの企画でした。（鳥取医療生協・星見達也）